

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	8月の価格情報		9月の価格情報		10月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	生育及び価格の10月上旬までの見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額						
	下旬	上旬	中旬						
葉茎菜類	キャベツ 	74.19	94 (127%)	74.19	105 (142%)	128 (173%)	74.19	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 15,157t 主産地 : 群馬 (79)、岩手 (11) 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、9月中旬までの曇雨天による日照不足や低温の影響で、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。岩手産は、最近の低温の影響で生育の停滞がみられるものの、病害もなく、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 群馬産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を大幅に上回っている価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		88.91	94 (106%)	88.91	106 (119%)	129 (145%)	88.91	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 4,117t 主産地 : 群馬 (72)、長野 (25) 	
	ねぎ 	273.33	293 (107%)	273.33	330 (121%)	401 (147%)	240.04	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 5,001t 主産地 : 青森 (29)、秋田 (18)、北海道 (16)、茨城 (13)、山形 (10)、岩手 (5) 	<ul style="list-style-type: none"> 青森産は、病害の発生が見られたが、全体の出荷に影響がないため、引き続き平年並みの出荷の見込み。秋田産は、台風18号の影響もなく、太さに多少のバラツキが見られるものの、生育は順調で、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。北海道産は、生育は順調で、平年より多めの出荷となっているが、9月中旬までの降雨の影響もあり、今後は平年並みの出荷の見込み。 青森産及び北海道産の出荷が平年並みと見込まれ、秋田産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っていることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		487.13	450 (92%)	487.13	464 (95%)	607 (125%)	467.01	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 929t 主産地 : 香川 (28)、奈良 (15)、三重 (14)、大阪 (13)、徳島 (12) 	
	はくさい 	58.82 78.06	91 (117%)	78.06	111 (142%)	140 (179%)	56.81	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 8,624t 主産地 : 長野 (86) 	<ul style="list-style-type: none"> 長野産は、9月中旬までの曇雨天による日照不足や低温の影響で生育が停滞していることに加え、病害の発生がやや見られたことから、現在は平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は増加が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。 長野産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っていることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		62.79 88.72	89 (100%)	88.72	113 (127%)	149 (168%)	69.44	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 3,531t 主産地 : 長野 (99) 	
	ほうれんそう 	583.95	778 (133%)	583.95	813 (139%)	873 (149%)	385.11	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 888t 主産地 : 群馬 (28)、栃木 (21)、茨城 (18)、岩手 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、病害の発生は特段見られないものの、9月中旬までの曇雨天による日照不足の影響により生育が停滞しており、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。栃木産は、9月中旬までの曇雨天による日照不足と急激な気温の低下に伴い、生育が停滞していることに加え、病害も発生していることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 茨城産の出荷が平年よりやや多めと見込まれるもの、群馬産、栃木産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		670.86	744 (111%)	670.86	775 (116%)	895 (133%)	461.74	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 388t 主産地 : 岐阜 (81)、北海道 (12) 	
	レタス 	158.27	142 (90%)	158.27	177 (112%)	266 (168%)	158.27	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 8,475t 主産地 : 長野 (82)、群馬 (10) 	<ul style="list-style-type: none"> 長野産は、9月中旬までの曇雨天による日照不足の影響で生育が停滞していることに加え、病害の発生も見られたことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、9月中旬までの曇雨天による日照不足の影響から、一部のほ場で病害が見られ、生育はやや不良であることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 長野産及び群馬産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		152.57	153 (100%)	152.57	186 (122%)	279 (183%)	152.57	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 1,935t 主産地 : 長野 (98) 	
	たまねぎ 	84.85	106 (125%)	76.15	92 (121%)	83 (109%)	76.15	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 10,717t 主産地 : 北海道 (89) 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、生育期の天候に恵まれたことから、生育は順調で全般的に早生種は豊作傾向であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年並みの価格は、平年を下回って推移する見込み。
		84.85	115 (136%)	76.15	98 (129%)	88 (116%)	76.15	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 3,340t 主産地 : 北海道 (60)、兵庫 (39) 	
果菜類	きゅうり 	210.69	332 (158%)	210.69	411 (195%)	366 (174%)	262.75	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 7,460t 主産地 : 福島 (30)、岩手 (11)、秋田 (11)、群馬 (10)、茨城 (9)、埼玉 (8)、宮城 (7) 	<ul style="list-style-type: none"> 福島産は、9月中旬までの曇雨天や低温の影響により生育が停滞していることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。岩手産は、9月中旬までの曇雨天や低温の影響により生育が停滞しており、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。秋田産は、出荷終盤を迎え減少傾向で、今後も引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 福島産、岩手産及び秋田産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、平年を大幅に上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		221.71	327 (147%)	221.71	433 (195%)	416 (188%)	284.72	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 1,654t 主産地 : 北海道 (34)、福島 (24)、愛媛 (13) 	
	トマト 	229.51	341 (149%)	229.51	424 (185%)	378 (165%)	315.83	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 7,654t 主産地 : 青森 (19)、千葉 (16)、北海道 (16)、福島 (13)、茨城 (10)、群馬 (9) 	<ul style="list-style-type: none"> 青森産は、8月上旬の高温・干ばつによる花落ちの影響が大きいことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。千葉産は、高温による花落ちと9月中旬までの曇天・低温による着色の遅れがあるものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。北海道産は、7月下旬から8月上旬の高温による花落ちの影響に加え、最近の夜温が低いことによる着色不良もあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷に見込み。福島産は、9月中旬までの曇天・低温の影響により、生育の停滞が見られ、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 青森産、北海道産及び福島産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を大幅に上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		271.33	320 (118%)	271.33	395 (146%)	398 (147%)	337.88	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 1,791t 主産地 : 北海道 (44)、岐阜 (28)、岡山 (8) 	
	なす 	209.55	256 (122%)	209.55	377 (180%)	392 (187%)	301.00	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 3,924t 主産地 : 柄木 (31)、群馬 (25)、茨城 (23)、埼玉 (8) 	<ul style="list-style-type: none"> 柄木産は、9月中旬までの曇雨天に伴う日照不足や低温の影響による生育の停滞に加え、台風の風害による擦れ果で品質の低下が見られたことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、9月中旬までの曇雨天と低温の影響による生育の停滞に加え、台風の風害による擦れ果で品質の低下が見られたことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、9月中旬までの曇雨天と低温の影響により生育が停滞しており、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 柄木産、群馬産及び茨城産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		221.72	229 (103%)	221.72	297 (134%)	355 (160%)	263.21	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 916t 主産地 : 山梨 (23)、徳島 (15)、大阪 (13)、奈良 (8)、京都 (8) 	
	ピーマン 	263.58	367 (139%)	263.58	418 (159%)	521 (198%)	263.58	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 2,507t 主産地 : 岩手 (37)、茨城 (36)、福島 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> 岩手産は、9月中旬までの曇雨天・低温などの天候不順の影響から、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、8月上旬の高温とその後の曇天の影響による着果不良から、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。福島産は、病害の発生は特段見られないものの、9月中旬までの曇雨天による日照不足と低温の影響で生育の停滞が見られたことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 岩手産、茨城産及び福島産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を大幅に上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		282.16	363 (129%)	282.16	400 (142%)	503 (178%)	282.16	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 596t 主産地 : 青森 (18)、兵庫 (15)、福島 (11)、北海道 (10)、大分 (10)、茨城 (8) 	
根菜類	だいこん 	94.60	118 (125%)	94.60	106 (112%)	105 (111%)	67.55	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 11,684t 主産地 : 北海道 (65)、青森 (30) 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、最近の適度な降雨により生育は順調で、平年よりやや多めの出荷であったが、これまでの前倒し出荷の影響で出荷終盤であることから、今後は平年よりやや少なめの出荷の見込み。青森産は、気温の低下に伴い、病害からの回復が見られ、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 青森産の出荷が平年並みと見込まれるもの、北海道産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		100.39	111 (111%)	100.39	102 (102%)	105 (105%)	76.48	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 3,202t 主産地 : 北海道 (70)、青森 (16)、岩手 (6) 	
	にんじん 	123.08	142 (115%)	123.08	144 (117%)	150 (122%)	123.08	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 7,483t 主産地 : 北海道 (98) 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、干ばつの影響で小ぶりであったが、最近の適度な降雨により肥大が促進されたことから生育は順調で、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
		123.11	146 (119%)	123.11	147 (119%)	152 (123%)	123.11	<ul style="list-style-type: none"> 入荷量 : 2,462t 主産地 : 北海道 (99) 	

注：1 平均価格は過去6年間の中央卸売市場の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税率は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
2 別割別平均税率は未調査の平均価格を150%以上回るものの、税率れいは保証基準額(平均価格の90%)を下回るものの(消費税率は除く)。

2 別々販売単価の赤字は平均価格を150%以上回るものの、背景あるいは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿フロック。

5 主産地は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」(

⁶コメントは、都道府県、出荷量、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からのお聴取りをもとに機構が作成したもの。
⁷平成25年8月20日時点
⁸平成25年8月20日時点
⁹別途販売規制一部の品目につき細分化。わざわざつては開港で内海航行。近華は青海ぎ、レタスについてはレタス（結球）、トマトについてはトマト（大玉）の数値を用いている。

7 半成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売額を一部の品目につき細分化し、 necklaceについてでは関東は曰ねぎ、近畿はくいの平均価格は、上段が7月1~8月10日まで、下段は8月11日~10月15日までの価格である。

8 は、そいの平均価格は、上段が7月1日~8月10日まで、下段は8月11日~10月10日までの価格である。

種類	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	8月の価格情報		9月の価格情報		10月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	生育及び価格の10月上旬までの見通し		
		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額					
		下旬	上旬	中旬	上旬				
いも類	さといも	242.66 (155%)	375	242.66 (143%)	348 (139%)	220.97	・入荷量：1,045t ・主産地：千葉（67）、宮崎（16） ・千葉産は、9月中旬までの曇雨天と台風18号の影響で掘り取り作業が遅れていることから、平年よりやや少なめの出荷となっているが、生育は概ね順調であることから、今後は平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、9月下旬で出荷がほぼ切上がる見込み。後続の埼玉産は、9月中旬までの日照不足などの影響は今のところ見られず、病害もなく生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・千葉産及び埼玉産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っていることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
	いも類	220.11 (134%)	296	220.11 (184%)	404 (158%)	217.56	・入荷量：257t ・主産地：愛媛（49）、宮崎（24）、大阪（13）、輸入（8）、奈良（4） ・北海道産は、概ね天候に恵まれ生育は順調で豊作傾向となっており、収穫作業も順調に進んでいることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。		
	ばれいしょ	101.61 (110%)	112	101.61 (109%)	111 (107%)	96.99	・入荷量：7,650t ・主産地：北海道（96） ・北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。		
	ばれいしょ	101.61 (133%)	135	101.61 (114%)	116 (107%)	96.99	・入荷量：3,455t ・主産地：北海道（95）		

注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。

2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を150%以上回るものの、背景ありとは保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）。

3 単位は円/g。上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。

5 主産地は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアであり、関東は本年見込（さといもは前年実績）、近畿は前年実績。

6 コメントは、都道府県、都道府県野菜価格安定期法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス（結球）、トマトについてはトマト（大玉）の数値を用いている。

8 はくさいの平均価格は、上段が7月1~8月10日まで、下段は8月11日~10月15日までの価格である。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、7月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,353gで前年比96%、購入金額は、1,966円で同111%となつた。	生鮮野菜の購入数量及び購入金額（1人当たりの購入数量と購入金額）		主要野菜の小売価格(東京都区部) (単位：円/kg)						
	年	過去5カ年平均	平成26年	平成27年					
	年	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)				
	1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	100	1,755	99
	2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	99	1,761	101
	3月	4,868	1,811	4,953	1,878	4,921	99	1,939	103
	4月	4,765	1,855	4,871	1,887	4,693	96	2,070	110
	5月	5,089	1,917	5,146	1,993	4,968	97	2,257	113
	6月	5,056	1,902	4,998	1,976	5,044	101	2,157	109
	7月	4,402	1,737	4,542	1,770	4,353	96	1,966	111
	8月	4,315	1,731	4,275	1,846				
	9月	4,688	1,844	4,745	2,035				
	10月	5,191	1,902	5,455	1,973				
	11月	4,990	1,700	5,291	1,704				
	12月	5,146	1,927	5,233	1,977				

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」
注：過去5カ年平均は、平成22~26年の平均。

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

注：1 過去5カ年平均は、平成22~26年の平均。

2 平成27年8月の値は、8月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

8月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比90%（中国は同94%、タスマニアは同237%）の2万2千トン、にんじんは、同103%、オーストラリアは同713%の5千7百トン、ねぎは、101%（中国は同101%）の4千3百トンとなつた。たまねぎは前年を下回ったものの、にんじん、ねぎは前年を上回った。	野菜の輸入数量					主な野菜の輸入数量 (単位:トン、%)
	区分	平成25年 前年比	平成26年 前年比	平成27年1月～7月 前年同期比	平成27年7月 前年同月比	
	生鮮野菜	854,420 90	884,735 104	536,596 92	70,025 107	
	加工野菜	1,854,679 97	1,785,487 96	1,040,014 95	154,809 96	
	野菜合計	2,709,100 95	2,670,222 99	1,576,610 94	224,834 99	
	うち中国産野菜合計	1,416,557 97	1,409,604 100	787,138 95	120,207 102	
	中国産シア	52	53	50	53	

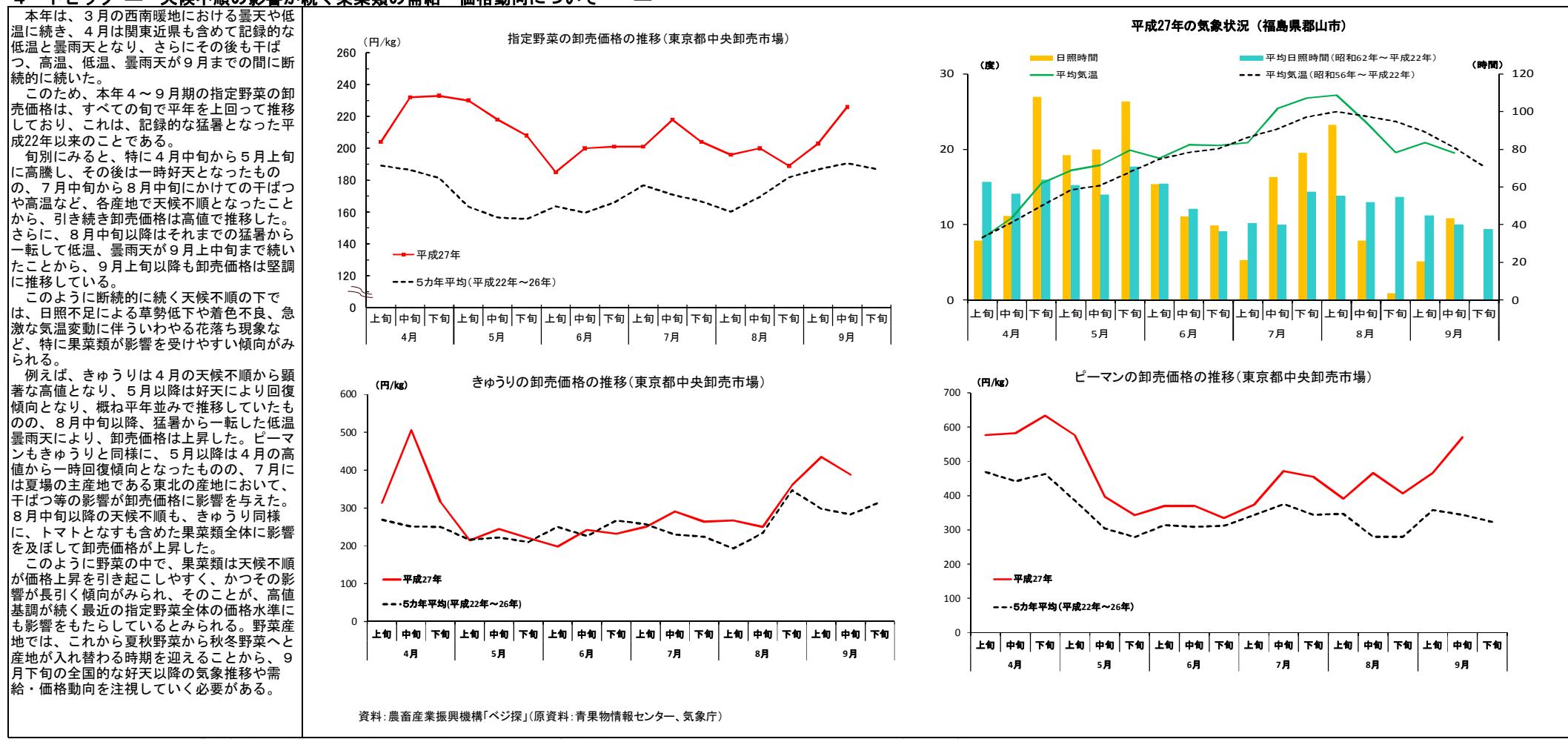
資料：農畜産業振興機構「ベジ探」（原資料：財務省「貿易統計」）

資料：農林水産省「植物防疫統計」

注2：輸入数量は、検査数量である。

注3：平成27年8月は速報値。

4 トピック — 天候不順の影響が続く果菜類の需給・価格動向について —



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」（原資料：青果物情報センター、気象庁）

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、斎藤、海老沼 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。

※無断転載禁ず・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。